

(公財) 米盛誠心育成会だより 第二三号

戦後七十年と云う節目の年に

理事長 米盛庄司



微量なレントゲン照射による放射線を身体から守るべく教えられて来たのに、電気エネルギーが石油発電から原子力に替り、身体への汚染を心配せず放射線の恐さは忘れ去られようとして居ります。放射線を受けるとそれが体内に蓄積し、内臓にガンが蓄積されていくと言われていた。数年経つとその病状が出てくるのですが、十年もするとガン患者が急増して来ます。空中に飛散している放射線がなるべく体内に入らぬ様気遣いが必要で。国は、放射線予防についての教育を徹底して貰いたいと思います。

近年、学制改革も実施されて定着して居りますが、中高一貫教育の成果が判りません。知育・徳育・体育の三育を県下で実践している優秀な生徒の出身校を表彰する事で保護者も教育者にも刺激になると思いますが、有識者の方々のお知恵を戴きたいものです。

ところで二十五年前、父庄太郎が残した永吉温泉は、鹿児島市の区画整理事業により中央保健所が移転することになり譲渡で得られた資金を父の遺産として活かす為に育英財団を設立(平成三年九月)し、向学心のある若者に教育費の援助と大学等研究機関への研究費助成をする事にしました。

これまで給付支援してきた奨学生は、高校生一九八名、鹿高専生一九名、鹿大(院)生一〇五名、鹿大への外国人留学生三七名の三五九名、さらに研究助成金は二六団体六八七三万円となりました。

また、顕彰事業では松方正義立像や鶴田義行記念碑の建立、江戸時代末期から明治維新に活躍した鹿児島の人々に係る伝

記本の配布などを行い、先人の歩みを知ること、次代を担う本県青少年に夢と希望を与えることができたものと思えます。

当財団のわずかな支援が少しでも社会のお役に立てばと考え、役員の皆様にご協力を戴いて財団の運営を続けて参りました。他の財団や団体等への助成の呼び水となるとともに、当財団の受給者の一層の精進の糧になってくれる事を祈ります。

奨学生修了者の進路

平成二十七年三月、二名の奨学生が卒業しました。それぞれの進路でなお一層、ご活躍ください。進路先は、次のとおり。

- ◇ 大学生(二名)
 - 鹿児島大学大学院
 - 鹿児島市(株)ベガハウス

平成二十七年度採用の奨学生

奨学金給付希望者の中から、学校等からの推薦書及び選考委員の面接の結果、新たに二名が決定しました。財団発足以来の採用者は、三百五十九名になりました。



- * 鹿児島大学工学部 建築学科四年坂本君
- * 海洋土木工学部四年 笹原君

* 本年度の奨学金受給者は継続者を合わせ六名です。



平成二十七年度の研究団体助成金が決定。今年度の研究団体への助成金は、次の五団体に決定し、七月九日鹿児島大学長室及び鹿児島工業高等専門学校において、米盛理事長から各対象団体代表者へ、助成金目録の贈呈を行いました。



鹿大長室で贈呈式

* 「磁場による焼酎酵母菌成長制御の研究」(三井好古准教授)

* 「鹿児島県における副振動発生予測に向けた長周期波監視システムの構築」(海洋土木工学部環境システムグループ)

* 「鹿児島県オリジナル農産物を用いた高機能性保持加工技術の検討」(鹿児島県特産農産物開発グループ)

* 「光照射による鹿児島県産農産物の機能性増強と鮮度延長技術の提案」(農学部青果物ポストハーベスト研究チーム)



鹿高専応接室で贈呈式

* 「都市気候分析及び防災のための環境情報観測センサネットワークの構築」(鹿高専 環境モニタリング研究会)

米盛誠心育成会の奨学生となって

鹿児島大学工学部

海洋土木工学科 笹原駿徳

この度は、貴財団の奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございました。家庭の状況が大変厳しく日々の学校生活、勉学に加え毎日アルバイトをこなさなければならぬという多忙な生活をしておりました。その為なかなか勉学に集中することができず、学生としての本業を全うできていなかったように感じます。しかし、今回貴財団の奨学生として選んでいただいたことでこれまでの生活を大きく変えることのできる機会をいただきました。これからは今まで生活費や定期代等の支出で手が回らなかった様々な分野にも積極的に挑戦していこうと思います。専攻分野に関する専門書や専攻に関する知識以外の様々な教養としての参考書も買い、読むなどして沢山の新しいものに触れて、自分を成長させていこうと思います。また、今までは県外へ出る機会もほとんどなかったため今年にはより広い知見を得るため時間とお金の工面をうまく行い、他県に行き他県の文化や人々に実際にふれることにより新しい価値観を学ぶべく社会勉強もしていきたいと考えております。そして、今年は大學生生活の集大成となる年です。本業である学業にこれまで以上にしっかりと取り組み社会へ出て通用するべく学力・教養・人間性・マナーを身につけ、無事卒業すること。そして、貴財団の奨学生であるという誇りを持って奨学生であること。積極性を持って誇りを持った奨学生であること。以上のことをしっかりと胸に留め日々精進していこうと思っております。

鹿児島大学工学部

建築学科 坂本直哉

先日の式より数日が経ちました。私は理事の方々からお勧めされた「最上の人生設計」を購入して本を開く前にこの文を書き始めました。私は、奨学生になっ

て初めて購入する本であるので、開く前にこの高揚感を文章にしたいと思ったからです。かねてから時々本を買ってはいたもののその購入頻度はあまり多くはありませんでした。しかし本を買った時は毎回最初のページを開く瞬間がとても好きで、その時になると心を躍らせながらページをめくっていました。今回「最上の人生設計」を購入した時はいつもと違う感覚でした。ページをめくる前ではなく、本を購入するその時から不思議な高揚があったのです。これから本を読み進めるのが楽しみで仕方ありません。次回は読了後の感想を添える事が出来ればと考えております。また、奨学金を頂けることで今後の読書量が増えることが予想され、自分の頭の中に「知」が累積されていく事もとても心躍る状況です。更に以前より設計の作業時に必要性を感じていた水彩絵の具の購入も可能になり、自分の「技」の上達への道が見えてきた事も嬉しく思います。加えて建築分野とは関係の薄い数学論についての興味が元々あったため、自分の知識の拡大のために「ガウスの論文集」も読み始めました。数学の奥深さは社会にも似ているなど感じていて、数学を更に深く学ぶことがこれからは必ず役立つだろうと考えており、楽しみにの一つとなっております。実質的に奨学生の初月となりますが式でも宣言したように奨学生として模範となるような生活を送りたいと考えております。

継続奨学生からの便り

鹿児島工業高等専門学校

都市環境デザイン工学科 村田真優

現在卒業研究では、全国の商店街の現状や改善策をまとめております。五月下旬にいちき串木野市の商店街で夜市が開催され、そこで商店街及びまちなかサロンについてアンケート調査を行いました。今週末にはささ祭りが二日間に渡って開催されます。前回の夜市より大勢の方で賑わうので、当日まちなかサロンが、

どのように使用されているかの調査を行う予定です。また春休みに計画・設計したまちなかサロンの新しい外観が出来ました。

鹿児島大学工学部

環境化学プロセス工学科 徐暉浩
私は夏休みをかけて卒業実験をやる準備中です。試みに数回の予備実験をしましたが、成功もありましたが失敗も沢山ありました。そこで改めて研究者たちの苦勞が理解できました。無数の失敗からやっと成功が導かれます。私は焦らず一歩一歩丁寧に実験をやって行きたいと思っています。就職面では5社を応募したものの、現時点では2社が落ち、2社結果待ち、1社書類選考が通り8月4日の一次面接に備え準備中です。内定1社は愛知県に本社があるパナソニックグループの子会社であり「パナソニックエコシステムズ(株)」という会社で、換気扇、送風機をメインの事業として現在世界で事業展開しています。PM2.5に悩まされる中国・インドなどの発展途上国に力を入れていきます。8月に就活を始めるとともに卒業論文の中間発表もあります。卒業と就職を最優先にしてこの二カ月を集中して過したいと思っています。7月中旬、東京の友人が鹿児島に旅行に来て鹿児島の魅力を彼に伝えるためレンタカーで指宿に行きました。砂蒸し温泉、そうめん流しなどを体験し愉快な一日を過ごしました。鹿児島の魅力を県外の人に伝えることも私の責務と思っています。鹿児島での最後の一年間悔いが残らないよう元気に過ごしたいです。

鹿児島大学工学部

海洋土木工学科 高舒恒
4年生になって忙しい時期になりました。卒論のテーマを決めました。自分のテーマは電気防食で簡単に説明すると、鉄筋コンクリート構造物中の鉄筋を電気防食する維持管理手法です。現在の電気防食基準では100mVに下がること

になっていきますが、その効果は明確でないため、もっと適切な電流を探すのが自分の研究テーマです。6月私は本学部の稲盛学生賞の内々定をいただきました。この賞をいただくことは、これからの勉強の励みに繋がります。生活については、7月7日私は玉龍中学校の英語の交流会に参加しました。初めて日本人の生徒に英語を教えることでした。しばらく英語を話していないので最初は緊張しましたが、生徒たちとよく話をすると緊張感がなくなりました。英語を勉強した経験を生徒たちに教えて英語が怖くないと伝えたいと思いました。その経験により自分も成長したと感じています。7月末の県中学生イングリッシュキャンプもありましたが、指導協力者として採用されました。自分の力でみんな英語を好きになれるように頑張りたいと思います。大学生最後の一年になります。しかし、進路について悩みがありますので、先生と相談し早めに決めたいと思います。

鹿児島大学工学部

環境化学プロセス工学科 趙媛媛
私は6月に盲腸炎で手術を受けました。今は元気に戻りました。今回の病気で健康の大事さをとても感じました。私は8月末から9月24日にかけて一時帰国します。祖父の体調が悪くて今入院をされているので今回祖父に会うため中国に帰ります。勉強・6月に体の原因で実験する時間がかなり減りました。8月の夏休みに学校で研究したいと思っています。また、8月5日に私は京都大学の大学院の試験があるため7月に受験準備に集中したいと思っています。7月に留学生会の活動がいくつかありますが、勉強のあいまでするつもりです。今回7月に勉強と研究と活動が同じ時期に来てストレス感じましたが、これは自分の能力にチャレンジするいい機会だと思います。頑張つて勉強も研究も活動もちゃんとやりたいと思います。

（財）鹿児島水族館公社への研究費助成
25年度研究助成していた、同水族館内案内ガイドシステムが完成し、供用開始されたことが南日本新聞に掲載されました。



研究助成金進捗状況報告会

26年度、二カ年に亘る研究について助成支援するとして決定した鹿児島大学の三件の研究テーマの進捗状況と、最終年度の助成金額を決定する為の報告会を4月24日開催しました。

各研究テーマの代表者からパワーポイントを用いた報告があり、いずれの研究も順調に経過しているとの報告がなされました。初めての試みでしたが、出席した役員からは「地域資源に新たな価値を加えられる研究で大いに期待が持てる」「地元企業とのコラボも考えたら」などの意見が出されました。また発表者からは「発表の機会をいただけ自信を持てた」「大学内では得られない建設的な提案をいただけた」と好評でした。

偉人の顕彰

・鶴田義行氏顕彰記念碑除幕式を

2月21日に行いました。昭和初期の1928年のアムステルダム、1932年のロスアンゼルスでのオリンピックにおいて、鹿児島市伊敷村出身の鶴田義行氏が競泳種目（200m平泳ぎ）でたゆまぬ努力の結果、2大会連続金メダルを受賞し世界の頂点に立ちました。当財団では、氏の偉大な功績を広く県

民に知っていただきたいことや、スポーツ、とりわけ水泳に親しんでいる青少年に夢と希望を与えることなどを目的として、鹿児島市の承認を頂き、県内の水泳振興の大きな拠点であります鴨池公園水泳プール敷地に顕彰碑を建立しました。除幕式には鶴田さんの親戚、鹿屋体育大の田口教授など水泳関係者ら約70人が集まり、偉大な先人の功績を讃えました。鶴田氏の「努力により夢は実現する。」という言葉は青少年にとって大きな励みになるものと確信しておりますし、郷土の先輩の功績を讃える碑文に触れた青少年の中からオリンピック選手が誕生することを期待します。



しになるものと確信しておりますし、郷土の先輩の功績を讃える碑文に触れた青少年の中からオリンピック選手が誕生することを期待します。

・県立高校生へ図書贈呈

今年、薩摩藩の藩命により4名の外交使節と15名の青年武士達が国禁を犯しイギリス留学の為船出してから150年になります。江戸幕府が鎖国政策をとっていた1865年4月17日、串木野羽島沖を出航してから2カ月余りの航海の後、6月21日イギリスのサウサンプトン港に上陸しました。



この節目の年に、次代を担う若者達に薩英戦争を契機として、積極的にイギリスなど西洋諸国に学ぼうと旅立った先人たちの足跡を著した書に触れ、何事にもチ

ヤレンジする気概をもって成長して欲しいとの思いから、県立高校生徒諸君へ図書を寄贈することとしました。今回、贈呈した本は、林望氏の「薩摩スチューデント、西へ」と門田明氏の「若き薩摩の群像」の2冊です。



これらの本が一人でも多くの県立高校生諸君の目に留まり、グローバル社会に育っていく糧となることを願い、6月19日、県教育長室で贈呈式がありました。

古川教育長からは「先人に学び、世界に羽ばたく人材に育成できるように、活用したい」と感謝の言葉をいただきました。

◎事務局から

① 財団奨学生終了生の皆様へ

平成3年9月に設立された当財団は、平成27年度25年目を迎えました。これまでの財団の歩みを記念誌として発行いたします。

修了生の皆様からの奨学生時代の思い出や奨学金への想い、あるいは社会人になってからの近況などを掲載する計画です。あなたの想いを是非10月末までにメール、FAX、手紙等で事務局へお寄せください。

② 住所変更の連絡を

終了者で住所の変更等ありましたら、必ず御連絡下さい。

〒890-0014
鹿児島市草牟田二丁目二一七
公益財団法人 米盛誠心育成会事務局
神田・水元

☎ (099) 226-0205
FAX (099) 224-1562
E-mail kanda@yoneg-net.co.jp